

村に載たれど今然るべき社なし牧郷村天神社ならむ隣里
柏久保村は舊一村なりし由なるが彼村に一宮明神あり一
宮と稱するは必式社ならむ社邊に今シントと云地名ある
牧郷村に峯度山東隠寺と云あるは倭文の轉訛なるべし又
一説に田京村深澤明神ならん社邊の字に麻か畑麻浸川あ
り近隣の者夜半に時々機械の音を聞事ありと是機を司り
玉ふ神なるに由あり田京は建羽槌命の轉ならんと云る長
伏村と云は神名帳の順序に由あり大野村は倭文の語に由
ありて聞ゆれば此二村の内なるべし牧郷村なるは其説少
しく附會に近し

高椅神社 稱高橋明神

祭神

祭日 九月九日

社格 村社

所在 (田方郡中の郷)

長濱神社

祭神

今按豆州志に長濱神社今神明と稱すとみえ式社考證に近
頃伊勢大神也と云るは神明の稱に因て錯ひし也州中神明
と稱する社の大方姫神なるに因て考るに賀茂郡上津島に
坐阿波辟命を遷し祀れるならむも知べからずと云れども明

證なければ定めがたし

祭日 一月十六日

社格 村社

所在 (田方郡内浦村大字長濱) 長濱村 麻之坂 今

久豆彌神社

祭神

祭日

社格

所在

今按當社所在未詳豆志に久豆彌神社 賀茂郡 元祿十年上
梁文に葛見大社岡村稻荷者藤原朝臣鎌足大臣十六代後胤
工藤大夫祐高公之修造也とみゆされど葛見大社と有のみ
にて他に證なければ定難し神名帳考證に木宮明神在三熱
海大湯之西云々或云五十猛命と稱す又熱海村温泉明神
なるべし豆志に云伊豆峰記に湯前權理とす熱海温泉記に
云天平勝實元年六月神小童に託して温泉を汲取て之に浴
せば能衆疾を治せんと教へ給ひぬ里人因て祠を建て少彦
名命を祀ると永正十八年上梁文に熱海郷湯瓦原村湯宮禰
宜四郎大夫家吉其外官位人六人と記すとあり伊豆國風土
記に曰穉温泉古天孫未降也大日貴尊與少彦名命我秋津
洲憫民天折始製藥湯泉之術伊津神湯又其數而箱根之元湯

是也 走湯者不然養 非尋常出湯一晝夕二度山岸屈中火陷隆
發而出温泉甚烈鋪沸湯以桶盛湯浸身諸病悉治とみゆ此に
よるに温泉記の説は舊よりかゝる傳の残れるを取合せて
天平勝實とは云しが又社を建しは此時にや久豆彌の地名
も此神を祀りしより出たるにて奇靈の神の義ならんとみ
え又一説に八幡村木宮明神なるべしと云り此社は豆志に
云一祠兩扉也大見十六村の總鎮守と稱す云々とあり舊く
田方郡にして葛見庄とも云たれば此ならん歟猶よく考べ
しと云るが中に就て熱海村温泉明神所由ありて聞ゆれば
此社と定むべきに似たり